

TAY TWO



2011年10月11日

株式会社テイツー (JASDAQ 7610)

2012年2月期 第2四半期 決算説明資料



<http://www.tay2.co.jp>

TAY TAY TWO

2012年2月期 第2四半期累計期間

トピックス

事業トピックス

経営体制の刷新とともに推進する経営改革・戦略に基づき、各種施策を実施。

消費者参加型マーケティング ECサイト事業の開始

(2011年8月)

SNSを活用した「消費者参加型」のマーケティングを目的とした新設子会社を設立。今後の成長余力が見込まれるペットサプリメント市場に着目し、消費者がSNSを通じて商品企画やマーケティングに参加する手法の確立・ノウハウ向上を図る。事業化に当たっては、実績あるビジネスパートナーと協調し、ストラクチャー構築の上で推進。

組織改革の実施

(2011年5月)

全社的な機能強化を図り、より効率的な組織運営、営業活動を行うことを目的として組織改革を実施。また、急激な経営環境の変化に対応するため、執行役員制度を廃し、取締役の責任と権限強化

アイ・カフェ部門の 事業譲渡

(2011年7月)

当該事業のコンセプトに強く共感いただき、同事業の益々の発展を図れる相手先として(株)カジ・コーポレーション様に事業譲渡を決定。
譲渡価格:436百万円

テイツー“もったいない” ファンドの解散

(2011年7月)

新経営体制のもと既存政策の抜本的な見直しを進める中、経営資源の選択と集中を推進するために解散を決定。

経営資源の選択と集中

経営基盤の強化、経営効率の向上

新経営体制の下、「経営改革 第1フェーズ」である経営基盤固めを着実に推進。

**TAY TAI
TWO**

**2012年2月期 第2四半期累計期間
決算説明**

2012年2月期 第2四半期累計期間 業績サマリー

● 前年同期比(損益計算書)

(単位:百万円)	2011年2月期 2Q累計期間	2012年2月期 2Q累計期間	増 減
売上高	17,687	16,769	△918
営業利益	327	272	△54
経常利益	312	281	△31
四半期純利益	159	△140	△299

● 期初計画比(損益計算書)

(単位:百万円)	期初計画	実績	増 減
売上高	17,000	16,769	△230
営業利益	300	272	△27
経常利益	280	281	+1
四半期純利益	△70	△140	△70

● 前期末比(貸借対照表)

(単位:百万円)	2011年2月末	2011年8月末	(単位:百万円)	2011年2月末	2011年8月末
流動資産	5,962	5,474	負債	5,738	5,428
固定資産	5,294	5,258	純資産	5,519	5,304
総資産	11,257	10,732	負債純資産合計	11,257	10,732

2012年2月期 第2四半期累計期間 比較損益計算書

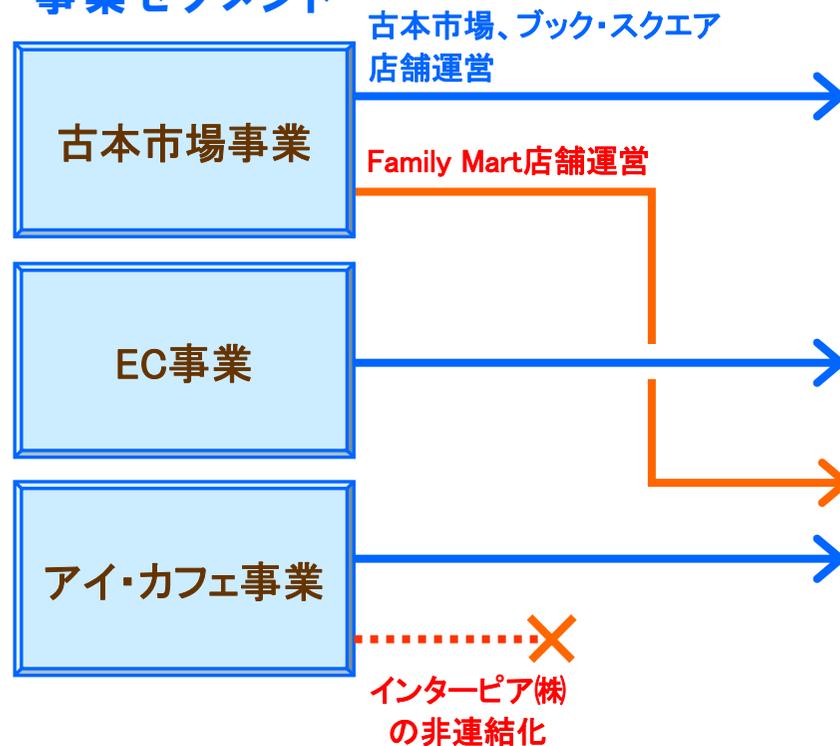
(単位:百万円)	個 別		増 減		連結(ご参考)
	2011年2月期 2Q累計期間	2012年2月期 2Q累計期間	増減額	増減率	2011年2月期 2Q累計期間
売上高	17,687	16,769	△918	△5.2%	18,096
売上原価 売上原価率	12,850 72.7%	12,037 71.8%	△813	△6.3%	13,143 72.6%
売上総利益 売上総利益率	4,837 27.3%	4,731 28.2%	△105	△2.2%	4,952 27.4%
販売費及び一般管理費 販管費比率	4,510 25.5%	4,459 26.6%	△50	△1.1%	4,622 25.5%
営業利益 営業利益率	327 1.8%	272 1.6%	△54	△16.7%	329 1.8%
経常利益 経常利益率	312 1.8%	281 1.7%	△31	△9.9%	313 1.7%
四半期純利益 四半期純利益率	159 0.9%	△140 △0.8%	△299	-	158 0.9%
1株当たり四半期純利益	307円	△270円			
1株当たり中間配当金	150円	110円			

※2011年3月に連結子会社インターピア㈱が連結の範囲から除外されたため、当期より個別決算のみとなっております。

2012年2月期 第2四半期累計期間 事業セグメント別の状況

当期からの事業セグメント

前期までの
事業セグメント



(単位:百万円)	2012年2月期 2Q累計(11/3~11/8)	
	売上高	セグメント利益
マルチパッケージ販売事業 (報告セグメント)	15,709	782
その他	1,059	50
全社費用	-	△560
全社計	16,769	272

※当期より個別決算のみとなった点、事業セグメントの変更を行った点などから、前年同期比較は記載して
おりません。

2012年2月期 第2四半期累計期間の状況

○ 売上高の状況

東日本大震災の影響を最小限に止めたものの、新品ゲームの発売延期等により、前期比で減収

- 発売延期が多かった新品ゲームを含め、全品目で苦戦
- 関東地方の計画停電、東北地方のアイ・カフェの一時的な営業中止の影響を最小化

○ 利益の状況

売上高の減少により減益。資産除去債務計上による当期純利益の減少

- 費用削減及び業務スペース拡大のため、東京本部移転
- 資産除去債務計上による特別損失341百万円、アイ・カフェ事業譲渡損失86百万円の発生
- 不採算店舗の閉鎖を期初計画より前倒しで実施

○ アイ・カフェ部門の会社分割

新経営体制のもと、長期継続的な成長のための経営基盤固め

- キャッシュ・フローに大きなプラス効果
- 今後成長が見込まれる新規事業に経営リソースを投入

2012年2月期 第2四半期 貸借対照表【個別】

(単位:百万円)	2011/2末		2011/8末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	5,962	53.0%	5,474	51.0%	△488
現預金	1,452	12.9%	978	9.1%	△473
売掛金	365	3.3%	309	2.9%	△55
商品	3,502	31.1%	3,498	32.6%	△4
貯蔵品	35	0.3%	32	0.3%	△2
その他	606	5.4%	655	6.1%	48
固定資産	5,294	47.0%	5,258	49.0%	△36
有形固定資産	1,893	16.8%	1,934	18.0%	41
建物及び構築物(純額)	1,062	9.4%	1,131	10.5%	69
その他(純額)	830	7.4%	803	7.5%	△27
無形固定資産	278	2.5%	261	2.5%	△16
投資その他の資産	3,123	27.7%	3,061	28.5%	△61
差入保証金	1,581	14.0%	1,575	14.7%	△6
その他	1,541	13.7%	1,486	13.8%	△54
総資産	11,257	100.0%	10,732	100.0%	△525

(単位:百万円)	2011/2末		2011/8末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
負債合計	5,738	51.0%	5,428	50.6%	△310
流動負債	3,578	31.8%	3,096	28.9%	△482
買掛金	1,438	12.8%	1,127	10.5%	△310
短期借入金	-	-	-	-	-
1年内長期借入金	725	6.4%	618	5.8%	△107
その他	1,414	12.6%	1,350	12.6%	△63
固定負債	2,159	19.2%	2,331	21.7%	172
長期借入金	1,353	12.0%	1,063	9.9%	△290
資産除去債務	-	-	466	4.3%	466
その他	805	7.2%	801	7.5%	△3
純資産	5,519	49.0%	5,304	49.4%	△214
株主資本	5,493	48.8%	5,295	49.3%	△197
評価換算差額等	△2	△0.0%	0	0.0%	2
新株予約権	28	0.2%	8	0.1%	△20
負債純資産合計	11,257	100.0%	10,732	100.0%	△525

2012年2月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2012/2期 第2四半期累計期間 11/3~11/8
営業キャッシュ・フロー	102
投資キャッシュ・フロー	△20
財務キャッシュ・フロー	△555
現金及び現金同等物の増減額	△473
現金及び現金同等物	894

営業CFの内訳

(単位:百万円)	2012/2期 第2四半期累計期間
税引前当期純利益	△185
減価償却費	291
たな卸資産増減額	9
仕入債務増減額	△310
資産除去債務	341
その他	225
小計	370
法人税支払等	△267
営業CF計	102

○営業キャッシュフロー

- 資産除去債務による影響などキャッシュを伴わない特別損失の影響等で、プラス

○投資キャッシュフロー

- 一部店舗のレンタル部分のTSUTAYA化などの投資の実施等で、マイナス

○財務キャッシュフロー

- 長期借入金の返済及び配当金の支払の影響で、マイナス

TAY TAY TWO

今後の方針

並びに

2012年2月期 業績予想

今後の方針

長期継続的成長を実現するため、成長戦略の3つの方向性を明確化。

長期継続的成長の実現

新規事業・新規市場の創出

既存事業とのシナジー追求と、成長市場の発掘・事業化

中核事業の再構築

商材別・店舗別管理レベル向上、出店戦略の見直し、EC事業の拡大

人財育成と生産性の向上

店舗スタッフの適正な配置等による生産性の向上、本部スタッフの機能強化

長期・継続的な成長に向けた取組み

長期継続的な成長の実現のため、等身大で着実な経営基盤固めを実現

第1フェーズ

経営の原点に立ち返り、現場に近いところで、
等身大で着実な経営基盤固め。

第2フェーズ

テイツーの
長期継続的
成長

2011年5月～

- 経営体制の刷新
- 組織改革の実施
- 「テイツー“もったいない”ファンド」の解散
- アイ・カフェの事業部門譲渡
- ソーシャル・ネットワーキングサービス(SNS)を活用した「消費者参加型マーケティングECサイト」事業の開始

→ 経営資源の選択と集中
フリー・キャッシュフローの創出

→ ECサイト運営ノウハウの向上
取り扱い商材の拡大

2011年9月～

上半期で実現した成果、打ち出した方向性を踏まえ、
下半期より更なる経営基盤の強化に向けた取組みを開始

「人・物・金」の
経営資源を投入

新ECサイトのオープン

ECビジネスの拡大に向けて、まもなく新ECサイトをオープン予定

新ECサイト **furu1online.net**
フルイチオンライン

(2011年10月末～11月上旬オープン予定)



○ 新ECサイトの特徴

- ・屋号の変更⇒幅広いお客様をターゲットに
- ・サイトデザイン一新 & 表示スピード大幅向上
- ・モバイル機能強化
- ・商材の拡大に対応及びスマートフォン対応
- ・その他顧客の利便性向上を実現

○ 新しい機能

- ・レコメンド機能
- ・かんたんおためし査定
- ・お気に入りリスト(モバイル)
- ・My検索機能(モバイル)

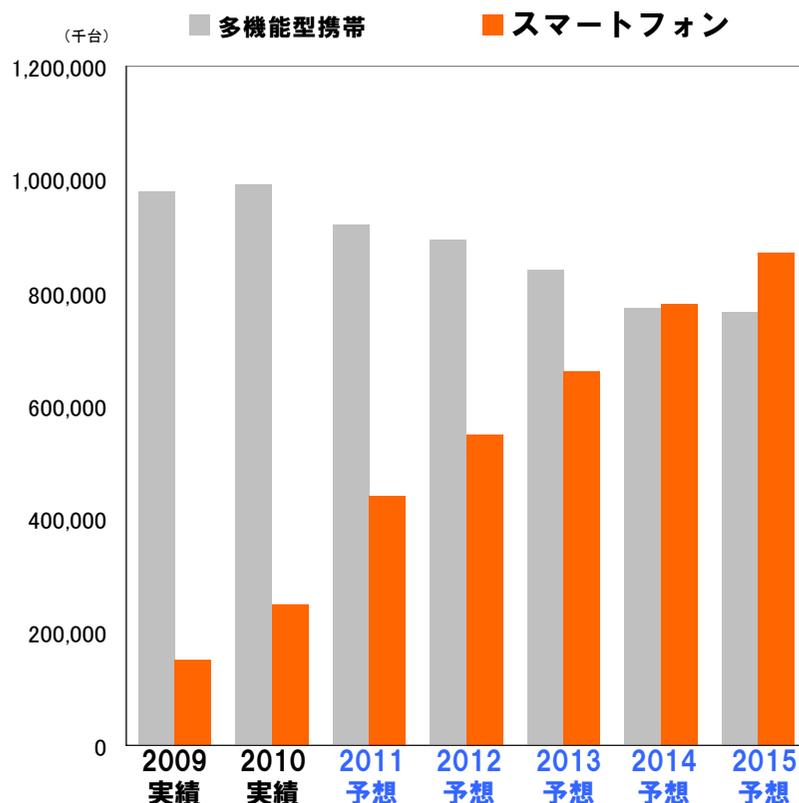
今後も拡大が続くことが見込まれるECビジネスへの取組みを強化する。

「スマートフォンコンテンツファンド」への参加

急成長するスマートフォン市場への対応として、コンテンツへの投資ファンドに参加

成長が続くスマートフォン出荷台数推移（世界市場）

（出所：富士キメラ総研）



「スマートフォンコンテンツ1号投資事業組合」の設立に参画（ファンド管理者：(株)アイシーピー）

○ スマートフォンコンテンツへ投資を実行

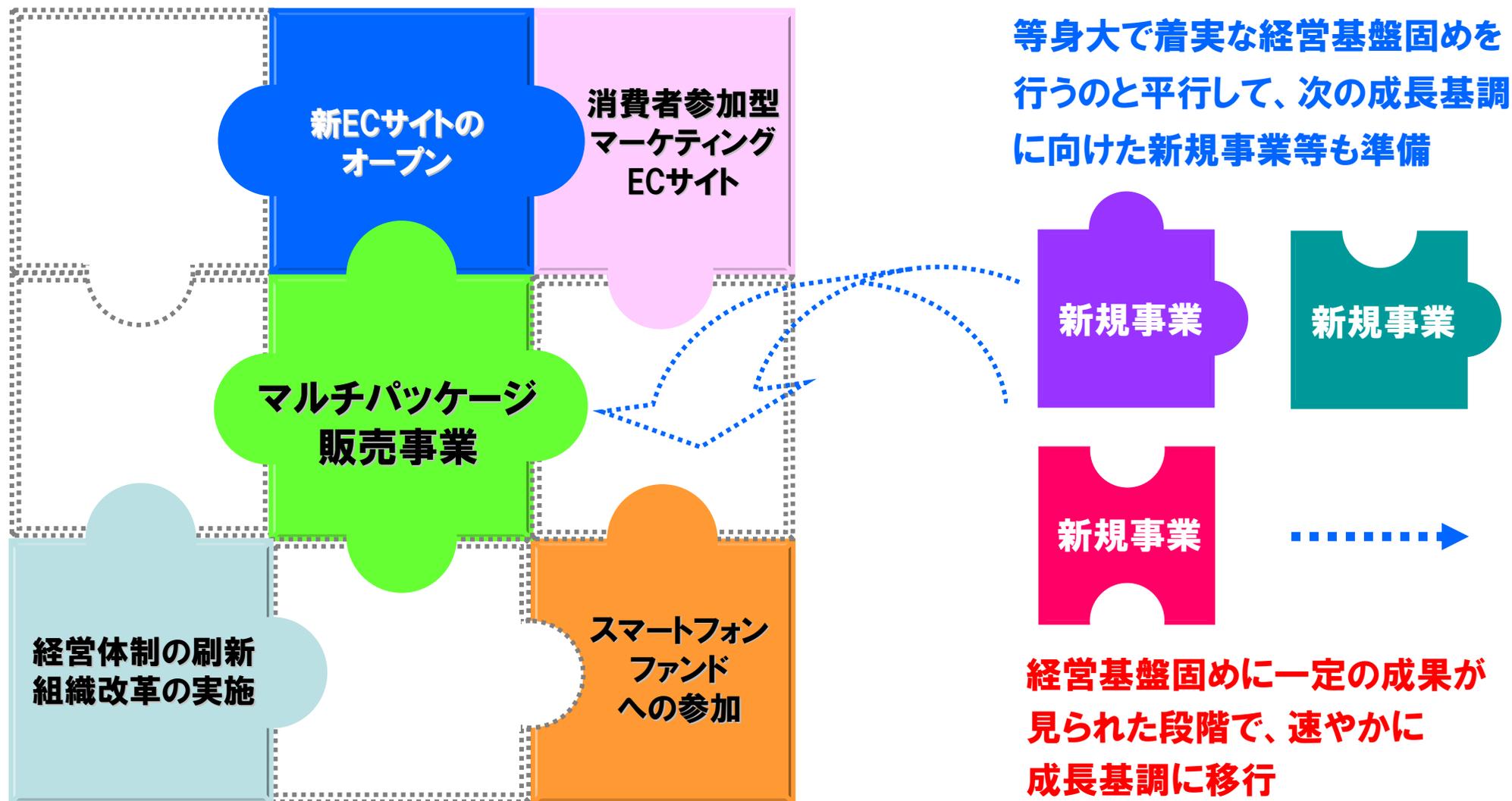
	PC	iPhone iPad	Android	多機能型 携帯
SNSアプリ・ゲーム		未成熟市場 今後も成長が 見込まれる		
SNS (コミュニケーション)				
コンテンツ配信 プラットフォーム				

- 有限責任組合員として参加(リスク低減)
- 当社のほかネット・ビジネス大手も参画・協力することで、投資案件の発掘・支援も完備

テレビゲームのみならず急成長を遂げているスマートフォンゲームなど幅広いゲーム分野のトレンド吸収により、今後の事業戦略展開の可能性を拡大。

経営改革 第2フェーズへ向けた動き

経営改革の第1フェーズを進めつつ、将来的な全体像を描いた上で、新事業も準備



2012年2月業績予想 — 1.通期業績予想 —

(単位:百万円)	2011年2月期 実績		2012年2月期 計画		前期比	
					増減額	増減率
売上高	38,897	100%	37,000	100%	△1,897	△4.9%
営業利益	894	2.3%	700	1.9%	△194	△21.7%
経常利益	878	2.3%	700	1.9%	△178	△20.3%
当期純利益	391	1.0%	100	0.3%	△291	△74.4%

※当期純利益の予想は、会計基準の変更による資産除去債務 341百万円を特別損失の計上、アイ・カフェ部門の会社分割に伴う 86百万円の特別損失の計上を考慮しております。

EPS	755円	193円
-----	------	------

※連結子会社であるインターピア株式会社が2011年3月から連結の範囲から除外されることとなったため、2012年2月期の業績予想は個別業績予想となります。

2012年2月業績見通し —2.通期業績予想の修正—

単位:百万円	2012年2月期 期初計画	2012年2月期 修正計画	増 減
売上高	39,000	37,000	△2,000
マルチパッケージ販売事業	37,000	35,700	△1,300
その他事業	2,000	1,300	△700
営業利益	870	700	△170
マルチパッケージ販売事業	1,950	1,700	△250
その他事業	20	50	30
全社費用	△1,100	△1,050	50
経常利益	830	700	△130
当期純利益	200	100	△100

※アイ・カフェ会社分割に伴う売上減少を反映。

※地震の影響による新品ゲームタイトル数の減少を考慮。

※来期以降の収益確保のため、既存店の店舗改装等により、利益減を見込む。

利益配分に関する基本方針

基本方針

① 業績に応じた配当の実施(配当性向25%以上)

② 将来の事業展開に備えた内部留保の充実

※特別な損益等の特殊要因により、税引後当期純利益が大きく変動する場合には、その影響を考慮した配当を実施

配当性向の実績と計画

	第17期(実績) 2006/3-2007/2	第18期(実績) 2007/3-2008/2	第19期(実績) 2008/3-2009/2	第20期(実績) 2009/3-2010/2	第21期(実績) 2010/3-2011/2	第22期(予想) 2011/3-2012/2
当期純利益	198百万円	634百万円	138百万円	741百万円	387百万円	100百万円
配当金	112百万円	131百万円	130百万円	153百万円	134百万円	113百万円
配当性向	56.7%	20.8%	94.7%	20.7%	34.7%	113.9%

※21期までは連結当期純利益および連結配当性向

※2011年7月4日付「配当予想に関するお知らせ」にて、第22期(2012年2月期)の1株当たり配当金予想を公表しております。
第2四半期末:110円、期末配当金:110円 → 1株あたり年間配当:220円



TAY TWO

參考資料

会社概要

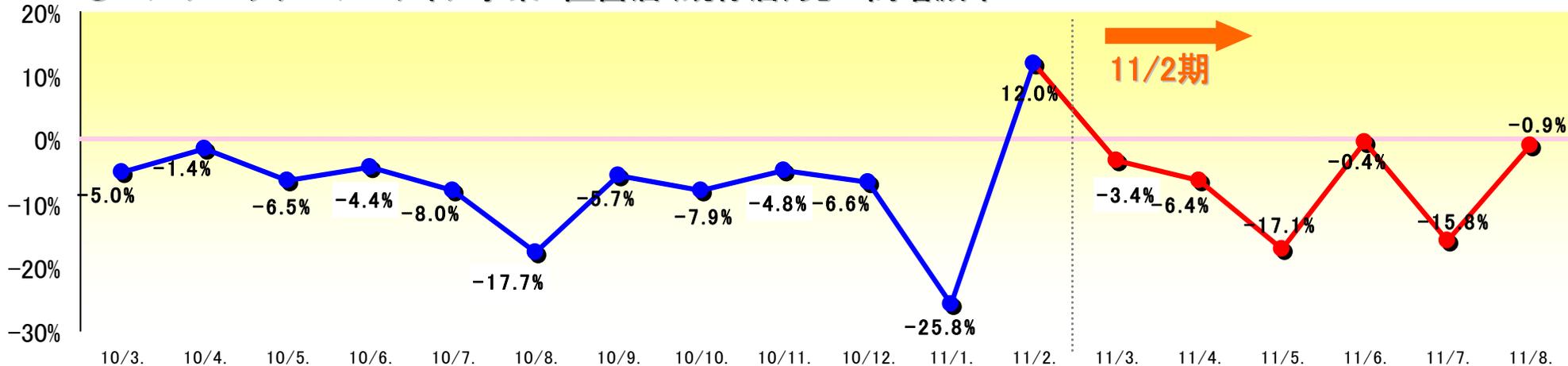
社名	株式会社テイツー（英訳名 TAY TWO CO.,LTD.）
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日：JASDAQ
本社	岡山県岡山市北区今村650番111
東京本部	東京都品川区西五反田7-1-1住友五反田ビル5F、6F
代表者	代表取締役社長 堀 久志
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取 及びビデオレンタル業務、コンビニエンスストア「Family Mart」の運営 2.インターネットサイト「古本市場online」の運営
従業員数	正社員 414人、パート・アルバイト 1,216人 計 1,630人(2011年9月末現在)
資本金	1,165百万円(2011年8月末現在)
発行済株式数	551,400株：単元株制度なし(2011年8月末現在)
株主数	5,932名(2011年8月末現在)

〔ご参考〕マルチパッケージ販売事業 既存店の状況

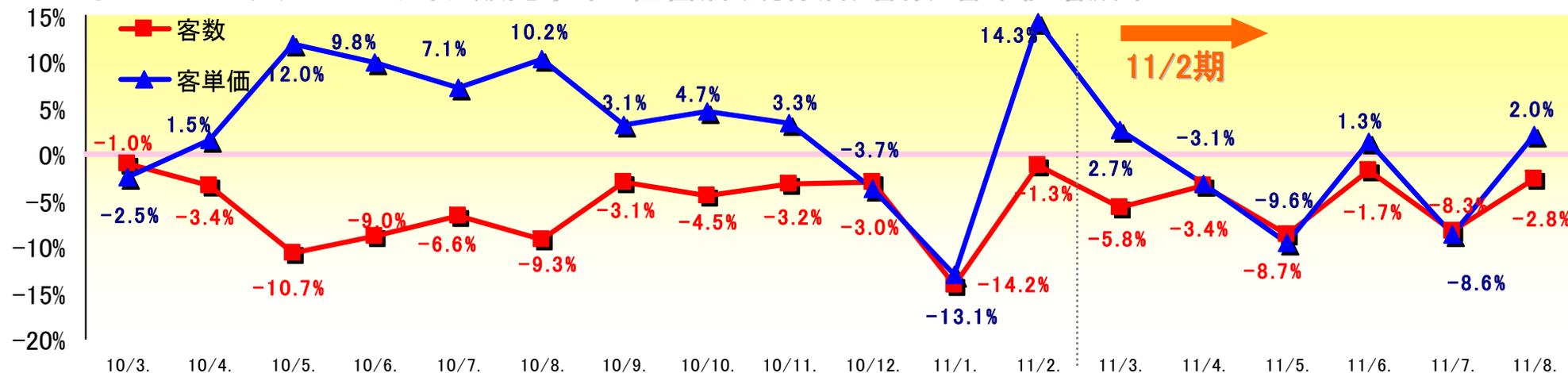
リサイクル品売上高が堅調に推移し、震災の影響を最小化

12/2期 2Q累計 Δ 5.2%

○マルチパッケージメディア事業 直営店(既存店)売上高増減率

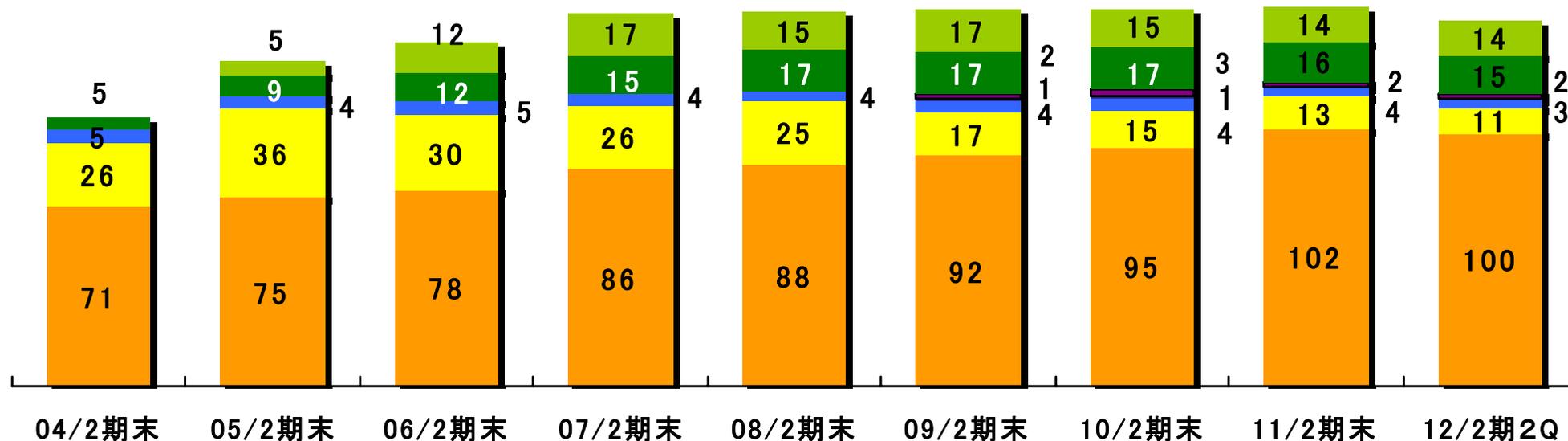


○マルチパッケージメディア販売事業 直営店(既存店)客数・客単価増減率



〔ご参考〕 2012年2月期 第2四半期 店舗の状況

■ 古本市場 直営店
 ■ 古本市場業務提携・FC店
 ■ ブック・スクウェア直営店
 ■ DonDon Down
■ Family Mart
 ■ アイ・カフェ直営店
 ■ アイ・カフェFC店



	2011/2期	2012/2期			増減数
	期末	出店	退店	期末	
マルチパッケージ販売事業	119	+1	△ 6	114	△ 5
古本市場直営店	102	—	※ △ 2	100	△ 2
古本市場業務提携・FC店	13	※ +1	△ 3	11	△ 2
ブック・スクウェア直営店	4	—	△ 1	3	△ 1
その他	32	0	△ 1	31	△ 1
アイ・カフェ直営店	16	—	△ 1	15	△ 1
アイ・カフェFC店	14	—	—	14	—
Family Mart	2	—	—	2	—
合計	151	+ 1	△ 7	145	△ 6

※直営店の退店2店舗の内、1店舗は直営店のFC化によるものです。

本資料は、2012年2月期第2四半期累計期間の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2011年10月11日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口：経営企画部 荒井、藤原、徐(そう)
TEL03-5719-4775 FAX03-5719-4583
E-mail: ir@tay2.co.jp